



2023年度 ことりぐみ



クラスだより

敦賀教会幼稚園

園長 有岡史季

5月31日発行

執筆者 渡菜々子

晴れ渡った空に、新緑の木々。すがすがしさを感じる季節になりました。新年度がスタートして、あ、という間に2ヶ月近く経ちます。年中児の生活にも慣れ、好きな遊びの際には、園庭で伸び伸びと身体を動かしたり、友達と鬼ごっこや「まるまさんが転んだ」を楽しんだり、制作遊びでは真剣な表情で集中して取り組んだり... 遊びの中でも年中児らしさが見られってきました。また徐々に友達との深い関わりが増えてきました。じゃんけんが定着してきた子どもたちは順番を決める際にじゃんけんを決めようと提案したり、言葉による伝え合いが増えたり... 日々様々な場面で子どもたちの成長が見られ嬉しく思います。一方で関わりが深くなってきた分、思うようにいかないことがあり、泣いてしまうこともあります。しかし、思い通りにいかない経験をすることで、自分の思いを伝え、友達との思いを聞くことを通して自分の気持ちをなんとか調整しようとする成長に繋がります。一人ひとりの思いを受け止め、丁寧に寄り添っていきたいと思います。

野坂山散策に行きました!

5月18日、ひかり組と一緒に野坂山散策に行きました。遊歩道を通り、穴窯池周辺の川が流れているところや広場で遊びました。涼しい風に包まれているお花を探したり、松ぼっくりを集めたり、池の魚を観察したり... 広い自然の中で、ぶらりと遊ぶことができました。暑い日差しの中でしたが、子どもたちは疲れる様子もなく、力強く歩いていました。随分体力もついてきたようです! 野坂山で見つけたお花や松ぼっくりを持って帰り、早速教室に飾ったり、遊びに取り入れたいと思っています。楽しい春の日でした!

◇ お箸に挑戦!! ◇
 + 会食の際、お箸で食べようと挑戦する姿が増えてきました。
 * 5月の中旬、管理栄養士の藤原さんがことり組に来てくださり、お箸の持ち方や食事のマナーについてお話をしてくれました!
 ◇ お箸の持ち方の前に、まずスプーンフォークの握り方を確認しました。このとき握りが見られるとお箸に移行しやすいです! 抵抗なくお箸に親しめるよう、小さく切ったスパゲッティを積み上げたり、お皿に入れたり、小麦粉粘土で丸くしたものを弾いたり、お箸を使った遊びを提供して下さり、皆で楽しみました! また、食事のマナーについて説明を聞いた子どもたちはその日からお皿を持って食べること、座り方、片付けがないうことなど、一人ひとり意識して食べる姿が見られました。
 ◇ お箸は一人ひとりのペースに合わせて援助していきたいと思っています。◇

遊びの中の学び

幼稚園教育要領の中で、次世代を生きる子どもたちの幼児期の終わりまでに育ってほしい姿(10の姿)が示されました。これは、決して強要されるべき到達目標ではなく、教師が保育を計画したり指導したりする上で踏まえておきたいポイントです。毎月の学びの芽のコーナーでは是非、どんな姿が育っているのかを参考にしながら読んでいただけたらと思います。

～ 10の姿～

〈健康な心と体〉 〈自立心〉 〈協同性〉

〈道徳性の規範意識の芽生え〉 〈豊かな感性と表現〉

〈社会生活との関わり〉 〈思考力の芽生え〉 〈自然との関わり・命尊重〉

〈言葉による伝え合い〉 〈数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚〉

〈エピソード：てんとう虫探し〉

好きな遊びの際、テラスに出てダンゴムミ探しやてんとう虫探しに夢中な子どもたち。そんな中、H君がてんとう虫を捕まえたが、よく見ると赤と黒の色ではないことに気づきました。一緒に観察していたYちゃんが「これは違う種類のてんとう虫なんじゃない?」と言出し、近くにはいたI君が「図鑑を見て探してみよう!」と提案!! 図鑑で調べてみると捕まえたのとくらべててんとう虫が載っていました。3人は「これだ!!」と喜び、じっくり観察していました。

このエピソードから〈自然との関わり〉が見られ、子どもたちの〈言葉による伝え合い〉により、更に知りたいという興味や探究心へと広がりました。